



金属床義歯粘膜面の 黒い色について

当技工所（株近藤義歯研究所）では、金属床義歯において「ロカテック処理」という方法を取り入れております。

ロカテック処理とは？

金属床義歯の金属部分と、樹脂の結合を良くするものです。

ロカテック処理 [3M ESPE Japan] により、金属と樹脂の剥離が抑えられ、より頑丈な義歯に仕上がりに、修理なども格段に減り、耐久性が向上します。

反面、ロカテック処理をする事でその部分の金属が黒く変色しますが、表面には

ピンクオーペーク処理をする事で見た目にはわかりにくくなります。ただ、粘膜面は厚みが増し、強度への影響があるため、通常オーペーク処理は致しませんので、変色がそのままに仕上げられます。黒くなる部分は外観で見える箇所ではなく、粘膜面の一部です。審美的、品質的に問題はありませんので安心してご使用ください。

